

屋久島町

第三期まち・ひと・しごと

創生総合戦略

総合戦略とは

屋久島町では、平成 27 年度から人口減少対策に取り組んできましたが、人口減少・少子高齢化に歯止めがかかっていない状況です。

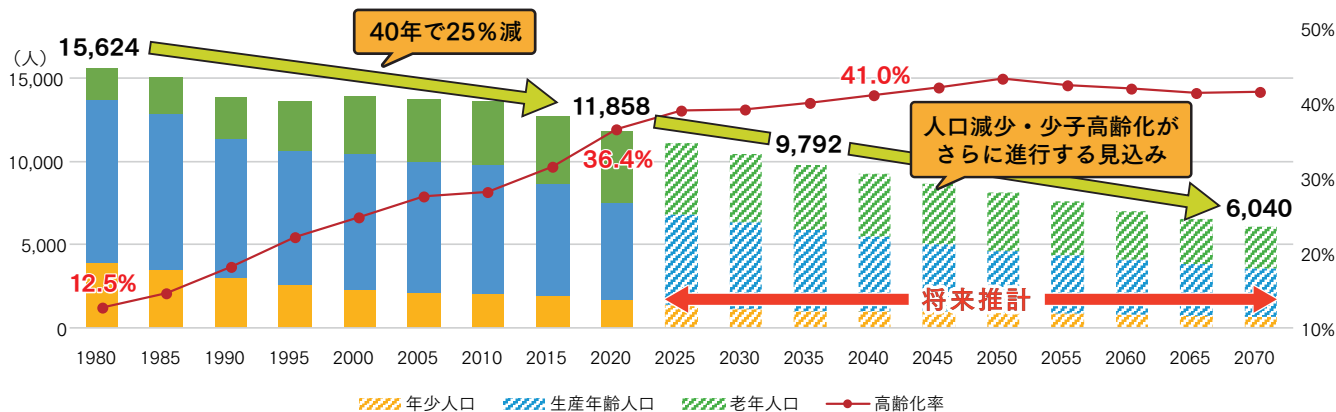
そこで、今後より一層厳しさを増すと予測される人口減少・少子高齢化によって起こる地域・経済の問題に対し切れ目なく対応し、町が講ずべき施策を総合的かつ計画的に推進するため、政策分野ごとの基本目標や施策の方向を「総合戦略」としてまとめたものです。

対象期間 第三期総合戦略の対象期間は令和7(2025)~11(2029)年度の5年間です。

年度	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)
振興計画 (町の最上位計画)	屋久島町第二次振興計画					第三次
総合戦略	第三期総合戦略					第四期
					検証・見直し	

人口ビジョン

屋久島町の人口・高齢化率の推移と将来推計人口



屋久島町の総人口は、1980(昭和55)年の15,624人から2020年は11,858人と、40年で約25%減、年平均94人のペースで人口減少が続いています。高齢化率も1980年の12.5%から2020年は36.4%と増加し、町民の3分の1以上が65歳以上の高齢者となっています。今後も人口減少・少子高齢化がさらに進行すると予測されており、2035年には総人口が1万人を下回り、2070年には6,040人にまで減少すると推計されています。

労働力により支えられている産業では、その活動が低迷化し市場全体の規模が縮小する、また、雇用の場が失われることでさらに人口が流出するという悪循環を招くこととなり、また、教育の分野でも、少子化による教員の減少や団体の部活動ができなくなる、医療の分野でも、医師数、診療科目の減少を招き、地域社会では、独自の伝統文化を守り受け継いできた集落活動が、担い手不足によりその活動を維持することが困難になるなど、人口減少は私たちの生活のあらゆる分野に大きな影響を及ぼします。

地域活動が維持できなくなると、
荒地が増えたり生活環境や防災
上の問題もあるね..

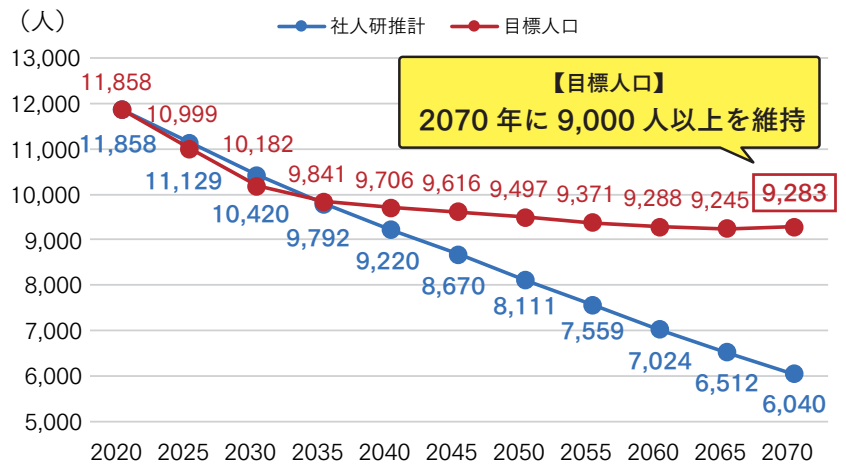


目標人口

人口減少・人口構成の変化は、産業、教育、医療・介護、地域社会、公共サービス等に大きな影響を与え、まちの魅力低下に結びつくため、さらに人口減少が進むという悪循環を招きます。

そこで第三期総合戦略では、**目標人口を令和52(2070)年に9,000人以上**と設定し、人口減少対策・地方創生に切れ目なく取り組んでいきます。この目標人口達成のための条件は次のとおりです。

▶ 屋久島町の将来推計人口と目標人口



- 合計特殊出生率を2045年までに本町の2020~2023年の平均値1.445まで回復させ、その後維持する。
- 2030年から若い世代(单身)を毎年30人(男女15名ずつ)、子どもを持つ若い世代の家族(0~4歳の子ども2人+両親)を毎年10組転入。

基本方針 地域ビジョン (町が目指す将来像)

悠久の流れの中で、
自然と共に生きる知恵と多様な集落の文化がとけあい、

共生

人々の営みが循環・持続していくまち

循環

「共生」と「循環」という言葉は、屋久島を含む多くの自然環境において、持続可能な社会を実現するための重要な理念を表しています。

共生の重要性 これからの地域づくりのビジョンとして、人口・生産年齢人口が減少しても地域経済・社会を維持するためのデジタルとの共生や移住者との共生といった多様な共生の形を反映することで、より豊かで持続可能な地域社会を形成していくことができると考えます。

循環の考え方 自然の循環のほか、地域経済・社会を維持するため、人の循環による地域の多様性や地域コミュニティの活性化につなげていくことを目指します。

SDGsとの関係 SDGsは、世界的な持続可能性のための指針として広まりましたが、屋久島の「共生」と「循環」の精神は、実際にはこれからの目標に先行する形で地域の中に取り入れられてきました。そのため、屋久島の取り組みは、SDGsの理念を具体化した先進的な事例とも見ることができます。

自然と私たちの暮らしを守り、豊かな屋久島を子どもたちに引き継いでいくために、みんなで協力して取り組みましょう！

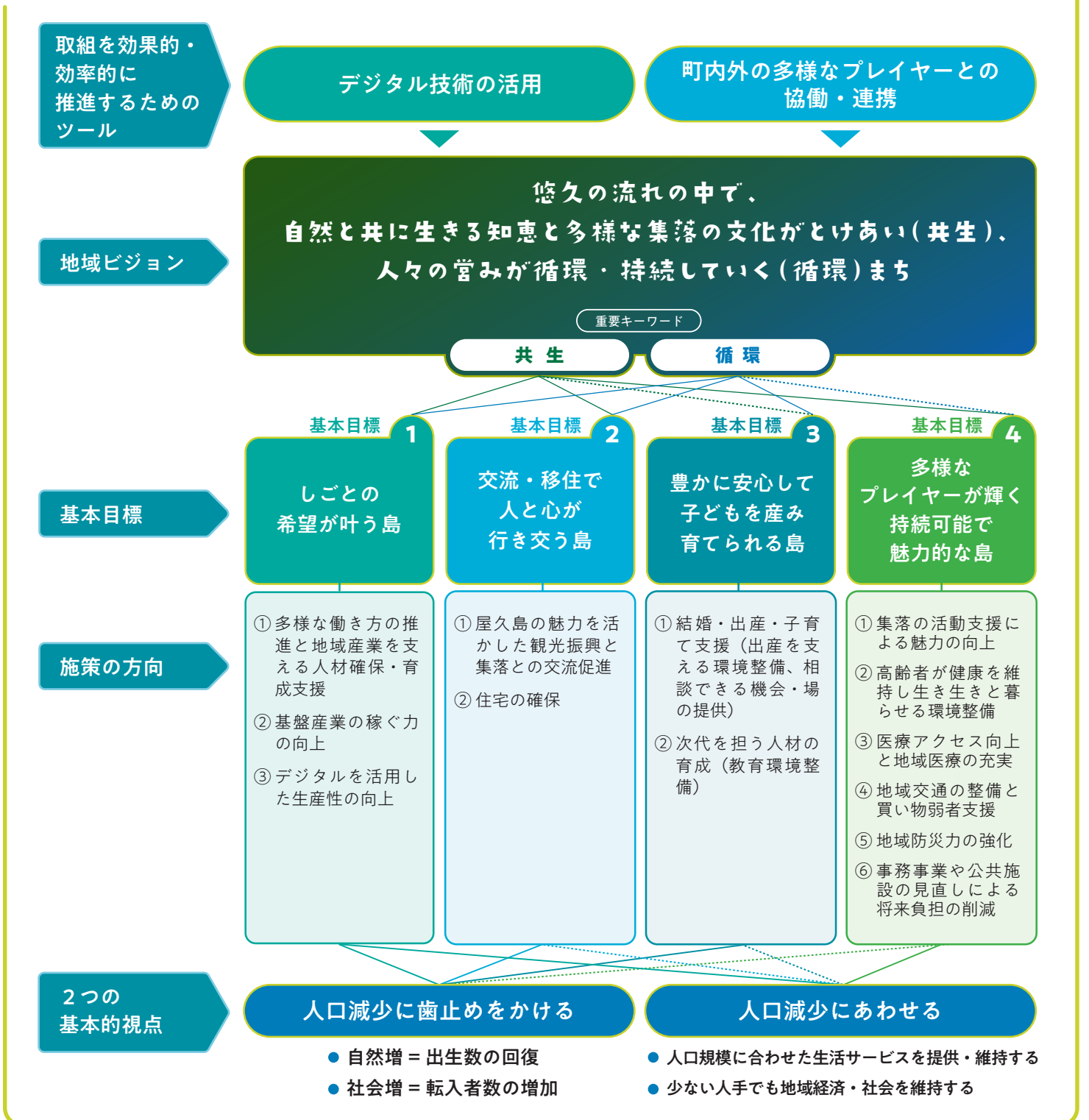


基本的視点

人口減少に歯止めをかける 加速度的に進行する人口減少・高齢化社会においては、これまでの社会システムでは立ち行かなくなる恐れがあることから、一刻も早く人口減少に歯止めをかける必要があります。出会いの場・機会の創出による婚姻数の増加や出産・子育て環境、支援体制の充実を図り、出生数の向上を目指します。また、Uターンを含む転入者数の増加、定住人口につながる関係人口の創出に取り組むのとあわせ、多様な働き方など仕事の希望が叶えられる支援を行い、地域産業を支える人材確保に取り組めます。

人口減少にあわせる 取組の成果が出るには一定の時間がかかりますが、その間にも人口減少・高齢化は進行することから、省力化・効率化できる分野については、協働と連携、デジタルとの共生(積極的な活用)により、現在の人口規模で維持できる社会システムへの変革に取り組めます。

基本目標とプロジェクト



基本目標 1

しごとの希望が叶う島

- 多様な働き方の推進と地域産業を支える人材確保・育成支援
- 基盤産業の稼ぐ力の向上
- デジタルを活用した生産性の向上

▶数値目標

指標	基準値	目標値
町内総生産額	423億円 (R3年度)	450億円 (R11年度)
事業所数	499事業所 (R6.12.31)	510事業所 (R11.12.31)
就業者数	6,550人 (R3年度)	6,500人 (R11年度)

▶戦略プロジェクト

- ① 多様な働き方の推進と地域産業の稼ぐ力向上プロジェクト

基本目標 2

交流・移住で人と心が行き交う島

- 屋久島の魅力を活かした観光振興と集落との交流促進
- 住宅の確保
- 山海留学や地域みらい留学の充実

▶数値目標

指標	基準値	目標値
入込客数	247,105人 (R5年度)	280,000人 (R11年度)
年間移住者数	221人 (R5年度)	250人以上 (R11年度)

▶戦略プロジェクト

- ② 人の流れをつくる移住・交流促進プロジェクト
- ③ 魅力的な地域づくりと共生・循環の実現プロジェクト

基本目標 3

豊かに安心して 子どもを産み育てられる島

- 結婚・出産・子育て支援
- 次代を担う人材の育成

▶数値目標

指標	基準値	目標値
合計特殊出生率	1.27 (R6年度)	1.3 (R11年度)
子育て環境の満足度	90.6% (R5年度)	90.6% (R11年度)

▶戦略プロジェクト

- ④ 結婚・出産・子育て支援の充実プロジェクト
- ⑤ 教育環境の向上と次世代人材育成プロジェクト

基本目標 4

多様なプレイヤーが輝く持続可能で魅力的な島

- 集落の活動支援による魅力の向上
- 高齢者が健康を維持し生き生きと暮らせる環境整備
- 医療アクセス向上と地域医療の充実
- 地域交通の整備と買い物弱者支援
- 地域防災力の強化
- 事務事業と公共施設の見直しによる将来負担の削減

▶数値目標

指標	基準値	目標値
住民の生活環境満足度	64.1% (R6年度)	基準年度比+3% (R11年度)
経常収支比率	87.4% (R5年度)	85.0% (R11年度)
施設統合等に伴う公共施設の面積	148,045.66㎡ (R5年度)	基準値比-5% (R11年度)

▶戦略プロジェクト

- ⑥ 医療・福祉・地域交通の充実プロジェクト
- ⑦ 賢い選択で、持続可能な未来を築くプロジェクト



屋久島町第三期まち・ひと・しごと創生総合戦略 概要版

編集・発行 屋久島町 政策推進課

本庁 〒891-4207 鹿児島県熊毛郡屋久島町小瀬田 849-20

TEL : 0997-43-5900